

## コロナ禍における非接触型訓練・「千坂防災の日」の実施

### 千坂校下町会連合会

#### 目 的

近隣のコミュニケーションが希薄な昨今、町内の状況を把握し、災害に対する自助、共助に役立つ防災訓練は必要となる。住民の防災意識を高めると共に訓練をとおして、連帯意識を醸成し、地域コミュニティの活性化を図る。

#### 概 要

実施日 令和4年7月24日 8月21日 9月4日 9月11日 11月4日 11月14日

場 所 千坂小学校体育館 公民館 児童館 各町会

参加人数 3640名(35+500+120+3150\*0.73+16+30+572+70)

訓練内容 防災倉庫一斉点検 「災害時要支援者に関する講習会」  
千坂校下一斉のシェイクアウト訓練  
スキルアップ研修(各ハザードマップ)  
安否確認・情報収集・情報伝達訓練  
避難所運営ゲーム 応急処置訓練・AED訓練  
避難所開設訓練  
千坂小学校、児童館防災教室

#### 実施スケジュール

時 期	内 容	場 所	備 考
6月下旬	シェイクアウトチラシ	各町会	全戸配布
7月中旬	各訓練概要説明	各種団体、各町会長	
6月初旬	防災訓練の必要な物の準備「災害時要支援者に関する講習会」		チラシ等
7月24日	防災倉庫点検 「災害時要支援者に関する講習会」	小学校グラウンド 公民館	
8月21日	・千坂校下一斉のシェイクアウト訓練	各世帯	
8月21日	・スキルアップ研修(各ハザードマップ)	公民館	
9月4日	・安否確認・情報収集・情報伝達訓練	各町会 小学校	
9月11日	・避難所運営ゲーム ・応急処置訓練・AED訓練	公民館 小学校グラウンド	
11月4日	・避難所開設訓練	小学校体育館	
11月4日	・千坂小学校防災教室	小学校	
11月14日	・児童館防災教室	児童館	

## 事業の運営体制

役 割	人 数	備 考
事業の企画	10人	町連役員、消防団、防災士
広報	10人	町連役員、消防団、防災士
訓練に必要な物の調達	5人	町連役員 防災士
当日運営	25人	町連役員、防災士、消防団ほか

## 事業実施にあたり工夫した点など

コロナ禍であったため、体温測定、マスクの着用等、感染対策に注意しながらの実施となった。

スキルアップ研修については、1研修を30名の枠を設け、4回に分けて実施した。また他の防災訓練でも30名までの参加者とした。

## 事業の成果

防災意識が高まったのはもちろん参加者同士の連帯感が生まれ、地域住民主体の避難所運営や、自助、共助の重要性に気づいてもらった。

## 課題や今後の展望など

避難所として現在、小学校、公民館が指定されているが、各町会の会館の利用についても視野に入れて、検討していく必要があるのではないか。 今後、避難行動要支援者に対する体制を構築していく重要性を強く感じた。

